

中期経営計画

(2025年度～2027年度)

2025年4月



名古屋港と四日市港のコンテナターミナル管理運営
名古屋四日市国際港湾株式会社
NAGOYA-YOKKAICHI INTERNATIONAL PORT CORPORATION

目 次

| | | |
|-----|-------------------------------|----|
| I | はじめに | 1 |
| II | 経営理念 | 2 |
| III | 経営方針 | 3 |
| IV | 基本戦略と主な取り組み | |
| 1 | コンテナターミナルの効率的運営・機能強化 | 4 |
| 2 | 港湾利用の促進 | 6 |
| 3 | 安全・安心、環境に配慮した施設提供 | 7 |
| 4 | 安定した事業運営 | 8 |
| 5 | 施設提供と外貿コンテナ取扱個数 | 10 |
| V | ESG 経営の実施と SDGs の達成に向けて | 11 |

Ⅰ はじめに

当社は、2011年の港湾法改正により新たに創設された港湾運営会社制度を活用し、コンテナターミナルの効率的な管理運営を推進するため、2017年5月17日に名古屋港管理組合及び四日市港管理組合により設立されました。

その後、2017年9月1日に、国土交通大臣から伊勢湾で一つの港湾運営会社として指定され、名古屋港及び四日市港のコンテナターミナルの一元的な管理運営を開始しました。

伊勢湾の後背地には日本を代表する世界有数の自動車産業、航空・宇宙産業、石油化学産業、精密機械産業などが集積しており、これらの「ものづくり産業」が国際競争力をもって益々発展していくことは、我が国の経済・産業の発展、市民生活の向上につながるものと考えており、当社は、この地域の発展にロジスティクスの部分で貢献して参ります。

一方で、地球温暖化に伴う脱炭素化への取組や気候変動に伴う自然災害の激甚化・頻発化、DXの進展に伴う情報セキュリティ対策の強化等、国際物流を取り巻く環境が大きく変動している状況下においては、これまで以上に我が国の国民生活と経済活動等を支える上で、港湾機能が維持されることは極めて重要です。

その様な中、当社は港湾運営会社として港湾利用者サービスのより一層の向上を目指し、コンテナターミナルの運営の更なる効率化を図るため、2025年4月から、これまで、名古屋港埠頭株式会社がコンテナ施設で行ってきた利用者調整、設計・工事監理を始めとする現場の関連業務を集約することとなりました。

それらを踏まえて、2025年度から2027年度までの当社の指針となる中期経営計画を策定しました。

伊勢湾（名古屋港・四日市港）のコンテナターミナルを利用者に選んでいただけるよう、本計画に基づき、当社の使命である効率的で競争力のあるファシリティとサービスの提供及び港湾運営の更なる効率化に取り組んでまいります。

II 経営理念

わたしたちは、日本経済の中で大きな役割を担う中部圏の「ものづくり産業」を物流面でしっかり支え、地域経済の発展、市民生活の向上及び国際的な通商の伸展に貢献していきます。



Ⅲ 経営方針

- お客様の要請に真摯に向き合うことでベストサービスを追求し、選ばれる港湾を目指します。
- 伊勢湾（名古屋港・四日市港）の港湾機能を最大限に利活用し、一元的な管理による相乗効果の創出、効率的な運営を推進します。
- 伊勢湾（名古屋港・四日市港）の先進性、優位性をアピールする営業戦略を展開します。
- 作業の安全性向上に配慮するとともに、大規模災害時にも物流機能が確実に確保できるように、安全・安心な施設提供に努めます。
- 温室効果ガス削減に配慮した施設提供など、環境負荷の低減に努めます。
- 持続可能な健全経営の視点に立脚し、柔軟かつ公正な会社運営を目指します。

IV 基本戦略と主な取組

1 コンテナターミナルの効率的運営・機能強化

(1) コンテナターミナルの効率的な管理運営

埠頭群として管理運営している名古屋港の飛島ふ頭・鍋田ふ頭及び四日市港の霞ヶ浦北・南埠頭における効率的な管理運営や生産性向上に向けた取組を関係者と連携しながら推進するとともに、港湾利用者サービスのより一層の向上を目指していきます。

【主な取組】

- ◆名古屋港NCBコンテナターミナル（R1・R2岸壁）の増深を踏まえ、飛島ふ頭南コンテナターミナル（93号・94号岸壁）との連携の推進
- ◆飛島ふ頭北コンテナターミナルの岸壁老朽化に伴う利用者への対応
- ◆名古屋港の利用者調整、設計・工事監理を始めとする現場の関連業務の実施
 - 主な業務
 - ・コンテナ施設の維持管理
 - ・コンテナ施設の修繕・改修
 - ・飛島ふ頭東側ガントリークレーンの保守 など
- ◆名古屋港管理組合と連携し、名古屋港コンテナターミナル全体の施策展開の検討
- ◆四日市港霞ヶ浦地区 81号岸壁の完成を見据え、北埠頭へのコンテナターミナルの集約・機能強化に向けた取組の推進

(2) 船舶大型化への対応

日本初の自動化ターミナルである飛島ふ頭南側コンテナターミナル（TCB）や国により岸壁改良工事が進められているNCBコンテナターミナルにおいて船舶大型化への対応を進めます。

【主な取組】

- ◆名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナルにおける係留ビット増設
- ◆名古屋港NCBコンテナターミナル R2 岸壁のガントリークレーンの大型化・免震化

(3) 取扱能力の向上に向けた取組

ガントリークレーンのスペックアップやコンテナターミナルのヤード拡張等、取扱能力の向上に向けた取組を進めます。

【主な取組】

- ◆名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナルのガントリークレーンの更新（18列対応・ツインスプレッダー）等
- ◆名古屋港飛島ふ頭南コンテナターミナルのヤード拡張
- ◆名古屋港全体を見据えた飛島ふ頭東側コンテナターミナル群の施策展開を検討

(4) 情報化の進展・技術革新への対応

社会経済状況の激しい変化に対応するため、AI、IoT等の情報通信技術、遠隔操作・自動化など、情報化の進展・技術革新の動向に注視し、関係者と連携しながらその活用方策について検討を進め、伊勢湾（名古屋港・四日市港）の強みであるターミナルシステムの機能強化、管理運営の効率化等に取り組みます。

【主な取組】

- ◆国が主催するコンテナターミナル運営効率化検討会等、各種会議・勉強会への参画
- ◆社内情報システムの強化（効率化）

2 港湾利用の促進

(1) 利用促進に向けた取組

港湾管理者、利用促進協議会、商工会議所等と連携し利用促進に取り組みます。

【主な取組】

- ◆名古屋港利用促進協議会および四日市港利用促進協議会など関係者と連携して国内外へのポートセールスの実施
- ◆当社が運営しているコンテナターミナルの利用状況を踏まえ企画した海外ポートセールスの実施
- ◆荷主や船社の動向やニーズの把握に努め、営業戦略に反映

3 安全・安心、環境に配慮した施設提供

(1) 防災・減災、その他緊急事態への対応に向けた取組

常に安全性向上を意識した施設提供に努めるとともに、大規模災害発生時における物流機能の早期復旧時においても国、港湾管理者等と連携して港湾活動への影響を軽減し、事業継続を図ります。

また、業務継続のための情報セキュリティ対策の強化を図ります。

【主な取組】

- ◆名古屋港 N C B コンテナターミナル R2 岸壁のガントリークレーンの大型化・免震化（再掲）
- ◆関係機関等が策定する各種 B C P との連携やその実効性を高めるための取組を推進
- ◆サイバーセキュリティ基本法に基づく情報共有、愛知県サイバーテロ対策協議会等の取組への参画
- ◆社内情報システムの強化（セキュリティ対策）、サイバー攻撃の発生を想定した訓練の実施

(2) 環境負荷低減への取組

国において、カーボンニュートラルレポート（C N P）の形成に向けた取組が推進される中、脱炭素社会の実現に貢献するための施設提供に努めます。

【主な取組】

- ◆照明設備の LED 化などの省エネルギーを推進
- ◆関係者と連携し、コンテナターミナルの脱炭素化に向けた実証事業の検討
- ◆国等が主催する各種会議・勉強会への参画

4 安定した事業運営

(1) 財務基盤の強化

計画的な設備投資、コスト低減に努めるとともに、資金調達については港湾運営会社のメリットである無利子貸付金制度を最大限利用していきます。

【主な取組】

- ◆ 中長期の収支シミュレーションに基づく計画的な設備投資
- ◆ コスト低減に向けた発注・契約
- ◆ 国や港湾管理者による港湾運営会社に対する支援策の継続・拡充の要請

(2) 運営体制の強化

社内事業本部の連携、人材の継続的確保・育成により、運営体制を強化するとともに、更なる効率的な運営体制を目指していきます。

【主な取組】

- ◆ 伊勢湾（名古屋港・四日市港）の一元的な管理運営による相乗効果を高めるため、名古屋事業本部・四日市事業本部の緊密な連携体制を強化
- ◆ 事業運営に必要なノウハウを有する人材の継続的確保・育成
- ◆ 国内外の港湾の運営主体等との交流の推進
- ◆ 管理運営における更なる効率的な体制の検討

(3) 会社の社会的責任を重視

公共性の高い港湾施設を建設、管理運営する事業主体として、法令や社内規則等の遵守、企業倫理や社会的規範に基づき、会社の社会的責任を重視した公平、公正な事業活動を推進します。

【主な取組】

- ◆コーポレート・ガバナンスの強化を図るため、役員、管理職及び社員に対するコンプライアンスの重要性を徹底
- ◆株主、取引先などの利害関係者への説明責任など、企業価値の向上を目指す意識を醸成

5 施設提供と外貿コンテナ取扱個数

(1) 施設提供

| | | 2024 年度 | 2027 年度 |
|-----------|-------|---------|---------|
| 岸壁 | (バース) | 15 | 15 |
| コンテナヤード | (千㎡) | 1,349 | 1,577 |
| ガントリークレーン | (基) | 23 | 27 |

※ 数量の増加は、スーパー中樞港湾施策の経過措置終了に伴うものである。

(2) 外貿コンテナ取扱個数

| | | 2024 年度 | 2027 年度 |
|------------|---------|---------|---------|
| 外貿コンテナ取扱個数 | (万 TEU) | 277 | 291 |

V ESG 経営の実施と SDGs の達成に向けて

当社は、背後のものづくり産業を物流面で支える伊勢湾のコンテナターミナルを管理運営する会社として、施設の機能強化、効率化を進め、利用者には選ばれるコンテナターミナルを目指しています。その様な中、世界的な SDGs 達成に向けた取組の高まりを受け、港湾運送事業者や港湾建設業者等の港湾関係企業においても、SDGs 達成に資する取組に向けた機運が高まっております。当社も、中期経営計画を推進するとともに、ESG（（環境・Environment）（社会・Social）（ガバナンス・Governance））に配慮した経営を行うことで、開発目標「SDGs」の達成に貢献してまいります。



| 中期経営計画の基本戦略 | 対応する目標 |
|---|---|
| <p>コンテナターミナルの効率的運営・機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナターミナルの効率的な管理運営 ・船舶大型化への対応 ・取扱能力の向上に向けた取組 ・情報化の推進・技術革新への対応 |   |
| <p>安全・安心、環境に配慮した施設提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災、その他緊急事態への対応に向けた取組 ・環境負荷低減への取組 |    |
| <p>安定した事業運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務基盤の強化 ・運営主体の強化 ・会社の社会的責任を重視 |    |